

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心 協働通心

平成30年度

第1号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

こいのぼりが、澄み切った空をスイスイと泳ぐ爽やかな日が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしですか？

今年度も「協働通心」を通して、「地域協働合校」の活動の様子をお伝えします。

昨年度の課題を踏まえて、今年度は、

- ★市民のみなさんに“地域協働合校”の名前、理念、活動の様子を広く知っていただく
- ★学校や地域で展開する“地域協働合校”の活動に子ども、大人が参加し、まちづくりにつなげていただく

地域協働合校を知ってもらい、活動に参加しようと思う人が増えていくと・・・

えっ、地域協働合校は始まって20年経つけど、まだ知られていないたび？



この2点に力を入れていきたいと思います。

草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」が言うように、平成10年にスタートした草津市の地域協働合校は、今年20周年を迎えました。この20年間、学校や地域で行われる“地域協働合校”の活動に参加、支援してくださった方も多くおられます。しかし、昨年度、様々な方とお話をする中で、「小学校に子どもを入学させた保護者の方の中には、初めて“地域協働合校”活動に出会われる」「PTA 役員をしているが、もっと早くから“地域協働合校”活動を知っていれば良かった」等の意見を伺いました。

実は、そんな方々も、学校や地域で地域協働合校活動に参加されていると思いますが、その活動と“地域協働合校”という名前が結びついていなかったように思われます。草津市が発信し、20年間続いた“地域協働合校”という名前も活動も大切にしながら、私たちの生活に、現在、大きな影響を与えている機器の発展が著しい中、特に必要な人と人とのつながり、出会いを大事に継続できたらと考えています。

広報くさつ「5月1日号」に、地域協働合校の理念や、支援ボランティア（サポーター）の募集等載せておりますので、ぜひご覧ください。

今年度も、全小学校に、学校と地域、子どもたちと大人を結びつける“地域コーディネーター”が入り、支援していただく地域や保護者の方との連絡調整や地域の教材発掘等をする担当者です。

去る4月20日に「地域コーディネーター業務説明会」を開催し、今年度の活動の確認を行い、スタートさせました。



今年度もよろしくお願ひいたします。